

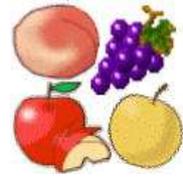


令和4年度 果樹情報 特別号

～ リンゴ褐斑病の防除対策 ～

(令和4年7月28日)

福島県農林水産部農業振興課



福島県病害虫防除所より7月28日付けで「令和4年度病害虫防除情報」が発表されました。新梢葉での発病が増加しています。二次感染を防ぐため、散布間隔があきすぎないように注意しながら、降雨前の薬剤防除を徹底しましょう。

昨年秋期の発生状況から、本病原菌の越冬量は多かったと推測されます。現在は、本病の二次感染期にあたり、今後の天候しだいでは、昨年同様に多発するおそれがありますので、防除対策を徹底しましょう。

1 リンゴ褐斑病の発生状況

- (1) 昨年秋期の調査において、新梢葉での発生量は平年より多い状況でした(図1)。
- (2) 7月下旬の調査において、新梢葉での発生は場割合は平年よりやや高く、発生が多かった昨年と同程度でした(図2、図3)。

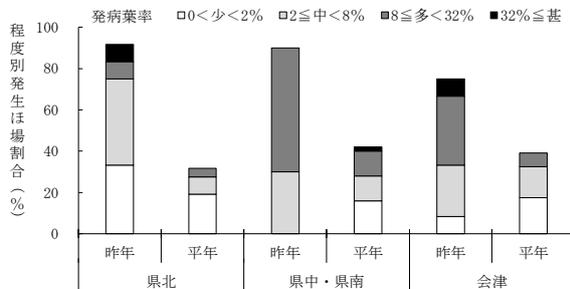


図1 新梢葉での発生状況 (昨年10月)
調査地点: 34園地 平年: 過去10年の平均

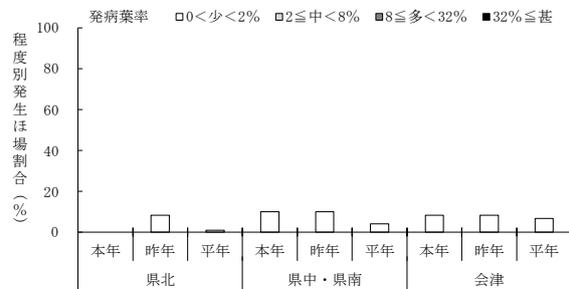


図2 新梢葉での発生状況 (7月下旬)
調査地点: 34園地 平年: 過去10年の平均

2 防除対策

仙台管区气象台発表の東北地方の1か月予報(令和4年7月28日発表)では、今後の平均気温は高く、降水量はおおむね平年並と予想されています。

- (1) 耕種的防除

薬剤がかかりやすいように、散布前に徒長枝の整理など新梢管理を行いましょう。

- (2) 薬剤防除

薬剤の散布は、気象情報に留意して降雨前の予防散布を心がけ、散布間隔があきすぎないように計画的に実施しまししょう。

また、薬剤はまんべんなくかかるように十分な量を使用しまししょう。

使用する薬剤は地域の防除暦等を参照し、薬剤の使用濃度、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守してください。



図3 リンゴ褐斑病の発病葉
(令和4年7月25日撮影)
(写真提供: 福島県病害虫防除所)

薬剤散布を徹底し、感染拡大を防ぎましよう!

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344

(以下の URL より他の農業技術情報等をご覧ください。)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>